保証人がいない、緊急時に対応

高齢者のみ世帯の増加に伴い、 あり、今後独り暮らし高齢者や 送る上で住まいの確保は重要で

見解は。

ると考えているが教育委員会の 件について、拡充する必要があ

小平市の就学援助対象要

市長 高齢者が安心して生活を

、市の見解は。

今後さらに増えていくと考える

高齢化社会の進行に伴い、

小

平

市 政 を

求めて

ような支援が求められているか。

①未就学児預かりにどの

②都の多様な他者との関わり

安心して子育てができる

住宅確保が困難な高齢者

住み続けるための支援の拡充を 安心して住み慣れた地域で

後も住居支援を進めていく。 宅の入居支援を行っており、

報提供やシルバーピアによる住

新未

就

学児を受け入れ

る

国または都の財源を確保するた

③求められる支援等を実現し、

めの要件を設定する必要がある。

(政和会)外山まなみ議員

ペアレントメンターによる支援未就学児の新たな支援体制/

たな支援体制の構築を



6

市民の安全確保を図る施策 持続可能な消防団を支える施策/

社会環境 മ 変化する中 (政和会)

質問 市の捉えは。また、対策は。 よる人員確保の困難さについて、 ②平成25年度から実施の消防 ①消防団員の高齢化等に

認定しており、消防団への入団 満たしており消防団全体の人数 足が生じないよう、地域の実情 団協力事業所表示制度の成果は。 に合わせた支援を検討していく。 している。引き続き、団員に不 化から団員の確保は厳しさが増 ②現在、4件の市内事業所を 「不足はないが、社会環境の変 ①現在、条例の定員数を 消防団活動の充実 市長 確保に関する条例を制定しては。

に寄与していると認識している。 义 市 るための施策について民生活の安全確保を

> Ŋ ょ

き

ح も 支

b

を

学

習

支 援 の 在 b 方

りそい

え

るため 支 援

よりよい学びを保障するための

投

票 率を

質問

①ひきこもりの捉えは

質問

①特別な支援が必要なる

質問

持続可能な消防団を支える施策について

制定されている。他市に倣って、 関する条例が多摩2市中2市で 質問 音機の貸出し総個数は。 ②安全・安心なまちづくりに ①現在までの自動通話録

に行っている具体的な支援は。

教育長 ①一人一人の学びを支

②学習補助員の配置の基準は 、通常学級で学習する意義は

②ひきこもりの当事者と家族

が

(仮称) 小平市市民生活の安全

添った長期的支援が必要である は異なるため、きめ細かな寄り 市長 ①一人一人の状態で支援

とともに、誰にでも起こり得る

認め合い学ぶことができる機会 個性を持つ児童・生徒が互いを える教育環境を確保し、多様な

である。同じ場で学ぶことで異

①現時点で1千3百台で

た普及啓発等を行う必要がある。 ため、正しい理解の促進に向け

②理念的な条例を制定する老

把握を行い、当事者等との信頼

②まずは家族との面談で実態

勢等を身に着けることができる。 なる視点等を共有し、協調の姿

②各学校の学級数等に応じ教

要と考えている。 向に沿った実効性のある対策を、 えはないが、その時々の犯罪傾 警察と連携し取り組むことが重

> 会の運営支援や、企業等との連 体的な支援は、ひきこもり家族 関係の構築から始めている。具

徒の保護者から配置申請があっ

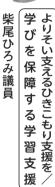
た際は加配等の対応をしている。

携による就労体験を行っている。

安心して子育てできる市政を安心して住み続けられる支援を/

(日本共産党小平市議団)三輪博美議員





(生活者ネットワーク)





空き家を利活用するために 投票率を上げるために/小平市の





大都市部の動向等を注視する。

増減の推移は。 質問 ①市内空き家等について

神障害者保健福祉手帳所持者へ

えている。

ついては達成しているものと考 のであると考えている。公約に

①政策60番について、精

のガソリン費補助の検討は。

政策による影響のみを捉えるこ も関係してくることから、87の 模宅地開発などの外部的な要因

③社会経済情勢の変化や大規

②市内3か所に期日前投票所 ③利便性向上等の観点もあり

上 さとう悦子議員 (生活者ネットワーク)

利小 活 平 用市 すの る空

段の確保や投票所増への見解は。

げるため に

票所が統合される場合の対応は。 ②期日前投票について交通手 ①公共施設の複合化で投

票環境等を踏まえ混乱が生じぬ 選挙管理委員会事務局長 ①投 きる共通投票所設置への見解は。 よう対応に努めていく。 ③選挙当日に投票所を選択で

ている。肢体不自由の児童・生 育委員会が配置時間数を決定し 投票日前日の投票所増等したた を設置しており、投票を目的と め、さらなる増設の考えはない。 した交通手段確保の考えはない。









(政和会)福室英俊議員

市長の政治

姿勢を問う

一般質問

市長公約87の政策の実現可能性と

を

の

政治姿勢を問う の政策の実現可能性と

検証を行い、現時点で妥当なも

意見も踏まえ、手数料について

②4年度空き家等実態調査で

市長 ①平成28年度が314件、 拠点づくりとして空き家活用は。 把握した特徴と課題は。 和4年度が55件である。 ③地域コミュニティーを育む

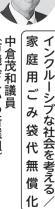
度が進行しているなどである。 あった場合には検討していく。 き家期間が長期化し、管理不全 ③所有者等から活用の申出が



市長公約87

たき め家 市 長

している等で、課題は一部の空 ②特徴は市内に偏りなく分布 令 ついて情報収集に努めている。 市長 ①他自治体の実施状況に トを与え得ると考えているか。 中長期的に市の人口推計及び個 で公約達成という認識でよいか。 たが見直しそのものは行ったの 人市民税にどのようなインパク は、料金の改定には至らなかっ 金見直しを行います」について ②政策77番「ごみ袋全体の料 ③87の政策を進めることで、



②廃棄物減量等推進審議会の

指して

について

○鷹の台駅前広場の今後の整備

数値目標も定めていない。 とは困難であると考えており、

【掲載分以外の質問項目】

○小平第一小学校のプール・体

育館について

○ドローンが身近な小平市を目

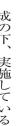
(市議会れいわ新選組)中倉茂和議員



成の下、 実施している。

家庭用ごみ袋代無償化について み 対 策 の 現 状 ے

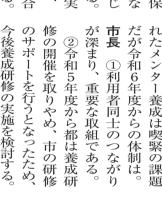
点から検証し、廃棄物減量等推 収集に変わり、費用の変化は。 進審議会の意見を踏まえ、現時 市長 ①ごみ減量の効果等の観 定収集袋の手数料の検証結果は。 基本計画の策定に当たって、指 ②ステーション方式から戸別

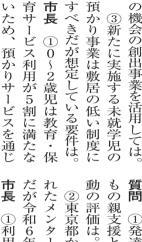


点の手数料は妥当と判断した。 ①第四次一般廃棄物処理



西部市民センター (小川西町公民館ホ 選挙の際に市内3か所に設置される期日前投票所 国や都からの通知は特にない。 国主導による取組が必要である。 教育長 ②共に活動する交流や 市長①法的枠組みの構築等、 流する場は。また、その頻度は。 が通常の学級の児童・生徒と交 や東京都からの通知はあったか。 育等に関する総括所見改善勧告 に対する市の見解は。また、国 ②特別支援学級の児童・生徒 インクルーシブ教





る。そのため、現時点では要件 や家計急変など援助が必要な人 摩26市の中で中位であり、失業 教育長 小平市の認定率は、多 の拡充は考えていない。 者に寄り添った対応を行ってい に対しては、その人の生活実態 に応じた認定を行うなど、申請 性を図り実施の可否を検討する。 その結果や既存の事業との整合 適切な支援につなぐ必要がある。 いため、預かりサービスを通じ 施の意向調査等を行っており、 ②市内の教育・保育施設に実

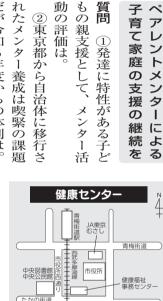
すための支援、及び居住支援法

(の案内など住まいに関する情

は、高齢者が民間賃貸住宅を探

ものと想定している。現在市で

住宅確保が困難な人が増加する する親族がいないなどの理由で、



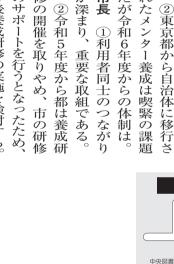
健康センター 4階

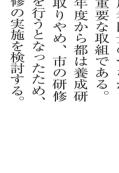
西友

東部市民センタ・

東部市民センター集会室

西部市民センタ







都営小川西町 五丁目アパート

童・生徒や保護者等との合意形

円で、約18%の増である。

平成30年度が9億7千7百57万

元年度が11億5千6百93万円、

較で、戸別収集を開始した令和

②収集運搬委託の決算額の比

頻度は、学校が計画し、児

共同学習は

全校で取り組んでい

